

根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育 2012



根知っ子よ！10の特別使命をクリアせよ！

2012. 9. 6~9. 7

1. わらい

①集団宿泊体験行事を通して、自然災害や災害発生時の対応について理解を深めるとともに、人間関係形成能力、意思決定能力、情報活用能力、将来設計能力の4つの能力を育む。

②保護者及び地域住民と地域防災の在り方について考え、学校と家庭、地域の連携を図る。

2. 日程

★避難訓練(14:13) 5限の保護者授業参観終了間際に、震度5強の地震を想定した避難訓練を抜き打ちで実施し、保護者にも避難行動を指示しました。



避難訓練！午前中の大雨と、ただ今の地震により、地域内各所で地滑りが発生！避難勧告が出されました。体育館が避難所になります。体育館へ2次避難しなさい！



- ・9月6日（木）は、朝から激しい雨が降りました。
- ・根知川も茶色く濁り、水位も上昇！
- ・このまま降り続いたら、本当に土砂災害が発生？

○開校式(14:30)

☆MISSION 1：地図をみて逃げ方を考えろ！災害図上訓練DIG(14:40)



まず地図上の自宅位置を確認し、消火栓や消防小屋、避難所などの防災資源をマークします。その後、授業で調べた広場（低学年）や水神様のある場所、湧き水が出ている場所（中学年）など、災害や防災にかかわるものをどんどん書き込んでいきました。その後、土砂災害のVTRを視聴し、地域内の予想される浸水域を考え、その危険性や対策を人的及び物的側面から意見交換しました。さらに、地滑りが発生したとして、同様の意見交換を行いました。また、市で作成したハザードマップで、想定される被災地域を確認した上で、「釜石の奇跡」のVTRを視聴し、「想定を信じるな！」の教えを学びました。

★避難所研修(4:40) 体育館を避難所とした生活を行う前に、自助・共助の大切さを阪神淡路大震災の状況を例に研修を行いました。



「自分の命は自分で守る」は自助、「自分たちの町は・・・」は共助、避難所生活においても自助・共助が求められます。しかし、避難所に避難する前に家や家具の下敷きになっては話になりません。自宅の耐震補強と家具の転倒防止がまず大事であることを確認した上で、消化器の使い方や避難所の状況について研修しました。避難所にあるものは「命」「情け」「知恵」、これらを最大限に活かすことが大切です。

☆MISSION 2: 避難所のルールをつくれ! (17:20)

※条件「保護者は老人役」「先生は先生役（但しM先生だけは日本語が話せない外国人のキャサリン、教頭はチャレンジャーブラック!）」「縦割り班が仮想の地域住民、地域単位で居住スペースを共有」「使用スペースは体育館棟のみ」「電気が使えない（非常用発電機と懐中電灯）」「水道水が使えない」「翌朝までの食事は、少な目のアルファ米とカンパン・ペットボトルの水」「何枚あるか分からない毛布と段ボール板」など
 児童と一緒に泊りのつもりで参加した保護者にとって、いきなり老人として避難所生活の主人公へ・・・この避難所において、児童、保護者（老人）、学校職員は自助・共助として何をどうすればよいのか？



校長先生が使える場所を説明

避難所長（老人代表）が全体に指示

班（地域）ごとにルールを確認

ブラックからの集合の指示

（18:08）初めての試みに、児童・保護者は“何をどうすれば・・・”、学校職員は“どこまで指示を出せば・・・”、とりあえず班で考えて行動したものの・・・ブラックからの集合の指示! 「リーダーはだれですか? リーダーはできるだけ動かずに班員へ指示を出しましょう。避難所にどういう人が何人いるのかの確認が重要です! もしも食料や毛布などを早く取りに来た人から一つずつ配布したら・・・活動している人は、作業内容や活動時間を全体で確認してから動いているのでしょうか・・・何もしていない人はやることがないのでしょうか?・・・日が暮れて暗くなったら大変!・・・」黒板は、試行錯誤の結果!



生活に必要な情報が記入された黒板

☆MISSION 3: 避難所生活を準備せよ! +職員は発電機と投光器を準備せよ! (18:10)

①トイレ用水の確保

②居住スペース作り

③非常食の配給・食事

④毛布の配給



①（断水設定のため）トイレの水が出ないので、代わりにプールの水をバケツでくみ、各トイレまで運搬しました。夜に足りなくならないよう、大きなポリバケツにも汲み置きました。②居住スペースと共有スペースをどこにするか決めました。地域や男女のスペースを間仕切るパーティション（段ボール板）の脚の組み立てに時間がかかりました。床には、プラスチック段ボールや体育館にあったゴザを敷きました。③朝までの非常食は、アルファ米とカンパン、スープ、水の4種類、どれも微妙に足りない数量です。夕食・朝食では何をどれくらい食べるのか、老人の方にはどんな食事がよいかを考えました。（おっと! 日本語を話せないキャサリンと学校職員分を忘れていませんか?）アルファ米は、水を入れてから1時間たないとおいしく食べられません。「予定のスタンプの時間に間に合わない! どうしよう?」④作業をしていると汗が止まらない、避難所はそのまま蒸し暑いのか? それとも・・・とりあえず毛布の数は、足りたので「ホッ」
 非常用発電機は、研究主任（チャレンジャーグリーン）の発案で、5月にその使用方法を研修していました。そのためスムーズに始動! でも、「どこで使用するといいのか?」意見が異なり迷う場面もありました。

☆MISSION 4: スタンプで避難所を明るくせよ! (19:20)



これは何でしょうか? (児童)

OOで、お・と・し・よ・り~ (保護者)

非常食をいただきます!

中学年が育てた枝豆も非常食に!

班ごとに、クイズやジェスチャーゲーム、じゃんけんゲーム、(目隠した人の手を引いて)目隠しリレーの出し物を行いました。保護者もすてきな〇〇文字で、避難所を和ませてくれたので、学校職員も負けじと続けました。

スタンプが終わったころ(20:20)、アルファ米も食べごろになり、ようやく夕食にありつけました。非常食のアルファ米が美味しいのには、みんな驚いていました。

☆MISSION5:電気がない夜をすごせ!(21:00) 21:00ピッタリに発電機停止により消灯!



2日目の朝

22:30頃には、会話する声もなくなり朝までぐっすり・・・6:00起床!そして、ラジオ体操!

☆MISSION6:避難所会議 避難所生活を振り返れ!(7:00)

はじめてづくしの避難所体験では、体験したことを振り返り次回に活かすことが大切です。できなかっただけでなく、よくできたこともしっかり振り返りました。



このころ断水を解除しようと止水弁を回してみるが・・・水が出ない!バルブが壊れて本当に断水に! 振り返りが終わった班から朝食を食べ、自発的に避難所の後片付けと清掃に取り掛かりました。

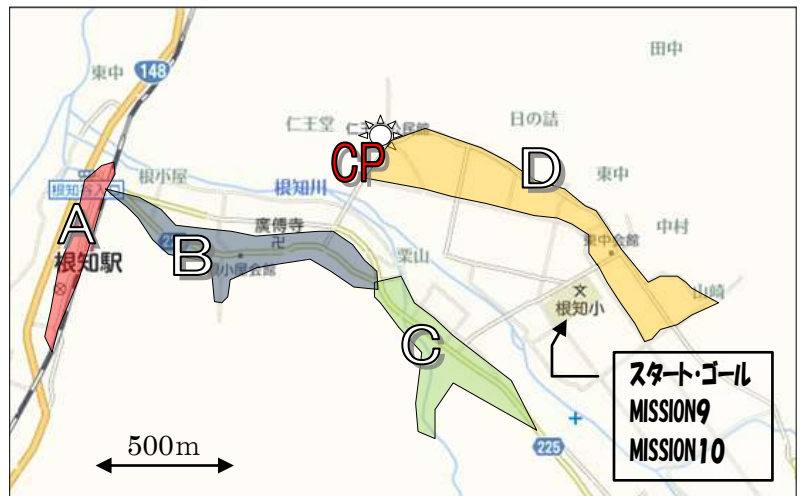
★ウオークラリー(8:30)

抽選で選んだ安否札配布コース A~D (下根知地域)の防災資源を確認しながら、コースの途中でMISSIONに取り組みます。学校へもどってくる前に、必ず下根知農村公園(チェックポイント:CP)を通らなければなりません。

途中のMISSIONに使用する水質調査キットの使い方を理解するために、市が保有している災害時用浄水器でろ過した水(大雨で濁っていた根知川の水)で試してみました。

※ウオークラリー出発間際、まだ断水状態は続いています。MISSION9の準備や炊き出し訓練ができない!・・・出発予定は9:00!

水が復旧しない中、予定通り9:00に、班ごとにスタートしました。



☆MISSION7:安否札を各家庭に配りながら、地域の防災資源を確認せよ!



「安否札ってなに?」「どういうものを作ればいいの?」5,6年生が思案し、時間をかけてつくった安否札。使い方を住民に説明しながら各家庭に配付しました。久々の子どもたちの訪問に、受け取ったお年寄りの話にも熱が入ったようです。さっそく学校にお礼の電話があり、配付した側もとてもうれしくなりました。道中、地域内の消火栓や消防小屋などの防災資源を確認しました。

☆MISSION 8: 飲む水をさがせ! (飲み水調査)



出発前に、水質検査キットの説明を受け、キットをもって?出発! コース図に記された湧き水を探し、飲む水かどうか調べました。「場所が分らない」「湧き出ている水が出ていない」「検査キットが・・・」とハプニングもありましたが、見つけることができた湧き水は、すべて適正範囲でした。

☆MISSION 9: 火事だ! 消火器で火を消せ!



水が出ない! 水道水が使えないと水消火器に水を詰められない・・・参加していた特別 MISSION 担当の I さん(保護者)の発案で、急きょ消火栓での放水を行うことになりました。I さんは、消防団員であるため、訓練は本格的なものでした。I さんは特別 MISSION の準備があるため、その後を女性消防団員である S さん(保護者)に引き継ぐことに・・・。後半 2 つの班は、予定していた MISSION を実施しました。「火事だ!」の声を聞き、校舎 1 階にある消火器を集め、的に向かって放水! (事前の学習が活かされました!?)

☆MISSION 10: 水害だ! 土のうを積み上げろ!



「水害だ! 土のう袋に砂を詰め、約 50m 離れた築山の手前に積み上げろ! 自分たちで、スコップや一輪車などの必要なものを校内から探し出し、土のう 1 2 袋を三段に積み上げました。重労働でした。

☆特別MISSION: ヤマメをつかまえろ!



班で4匹つかまえること! 包丁を使わずに00を取り出し... 塩焼に(3時間焼き続けました) はしも使わずにきれいに食べました!

チェックポイントでは、お楽しみ企画の特別 MISSION が待ち構えていました。ヤマメをつかみ取りして、食べることです。児童が起きる 6:00 前に、下見をし・・・I さんがすべてを準備してくれました。ヤマメを放流した川は、湧き水が流れ込んでいるためとても冷たく、暑さを忘れさせてくれました。

★炊き出し訓練(保護者対象)

「水が出ない!」緊張感が高まりました。「本当の避難所だったら・・・」と前向き思考で、食器を洗わないなどの水を節約する知恵を出し合いました。さらに、取えて鍋でご飯を炊くために、図書室で作り方を調べ・・・この状況下でも、みんなでおいしいカレーライスを食べることができました。

★児童引き渡し訓練(14:10) 13:30の引き渡し予定時間を大幅に超過してしまいました、ご協力ありがとうございました。

事前に登録された保護者・代理者であるか確認し、児童を引き渡しました。

